



# 憶神社へ ～輪っかをくぐってみたい～

先々月の6月30日（水）に、憶（あおき）神社で七夕祭りが開催されているため出かけることにしました。この日は朝から晴天で、出かけるには最高の日でした。

行きの道中の車内では気分も盛り上がり、利用者さんに「歌を一曲どうぞ。」と声をかけると「ポッポポッ、ハトポッポ～」と歌っていました。

神社に着くと、訪れたことがある方は、「ここね。こんな所だったっけ？」と言いながら車から降りました。駐車場から拝殿までの距離は約100mあり、歩行が難しい方は車椅子を使い、その他の方は自分の足でゆっくりと歩かれました。茅の輪（ちのわ）をくぐり抜けると、きれいな色の七夕飾りや風鈴の音が出迎えてくれました。その光景に利用者さんも職員も立ち止まり、しばらく見上げていました。また、途中には池もあり「大きな鯉がいるね。」と池の中を覗いたりしていました。

拝殿に着くと、皆さん思い思いに手を合わせ参拝していました。車椅子の利用者さんが、「あの輪っかの中をくぐってみたい。」と、言いました。近くにいた方にも協力してもらい、何とか車いすを持ち上げくぐる事が出来ました。「あー、来てよかった。あの輪っかもくぐらしてもらった。これで思い残すことはない。」と笑いながら言っていました。

皆さん少し疲れた表情をされていましたが、「良かところだった。行って良かった。」との声もあり、久しぶりの外出を楽しんでもらうことが出来ました。

コロナウイルスが蔓延し始めた昨年は自粛してどこにも外出することが出来ず、利用者の皆さんに窮屈な思いをさせてしまいました。しかし、今年は曾於市での感染が落ち着いていた事と、ワクチン接種も終わった事もあり外出の計画を立てました。今後も状況を見ながら、感染対策を徹底して外出したいと思います。

